

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2026年6月9日

2026年5月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は412.1億円となり、前年同月比60.1%増と大幅に伸長した。プレス系、サービス系はプラスとなったが、板金系は若干マイナスとなった。地政学リスクはまだ完全には解消されていないものの、プレス系では大型プレスの南アジア向受注があり、全体としては対前年比85%増となる受注となった。一方、板金系は国内が弱含むものの輸出が回復し、サービス系は国内がプラスを維持した一方、輸出は低調であった。
- 機種別 プレス系機械は234.6億円で前年同月比3.1倍と大幅に増加。小型プレス58.3%増、フォーミング93.8%増に加え、大型プレス約10倍、超大型プレス4倍、周辺装置約2倍増と幅広く伸長した。板金系機械は93.0億円で1.2%減となった。パンチング1.6%増、レーザ・プラスマ0.4%増が下支えした一方、ブレーキ・シャーは9%減となった。サービス系は84.5億円で4.9%増となった。
- 内外別 国内は90.9億円で16.7%増となった。鉄鋼8%増、金属20%増、電気0.7%増、輸送2.1倍であったが、一般27.4%減となった。(機種計) 輸出は236.7億円で2.4倍であった。中国向2倍、インド向17.3倍、韓国・台湾向16.4%増、欧州向13.9%増、北米向58.2%増であったが、東南アジア向68.6%減となった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



